

ヨコハマ市民まち普請事業

第1次整備提案書



1 整備提案の概要

<p>整備提案名</p>	<p>センターシーサイド活性化プラン</p>
<p>整備提案の概要 (なにをどのように整備するのか簡潔にお書き下さい)</p>	<p>商店街の空き店舗を利用し、子育て支援施設及び大人や高齢者のたまり場となるようなサロンを併設し、地域に開かれた交流の場を設置する。</p> <p>サロンについては、誰でも気軽に使える「広場」の形式を取るが、維持費創出のため非営利の範囲内で、昼はオープン式のカフェ、夜間は会員制の居酒屋を併設する。必要に応じ料理教室や集会など各種グループの利用もできるよう、フレキシブルな設計とする。</p> <p>また、施設の管理は地区社協及びNPOが行う。そのための事務所も設置し、運営にあたっては自治会の協力も得てボランティアに参加してもらう。</p>
<p>整備箇所の概要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 住所 ・ 面積(わかれば) ・ 周辺の地図があれば張り込んでください <p style="margin-left: 20px;">注1)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 住所：横浜市金沢区並木一丁目17街区 ・ 面積：約50坪 <div style="text-align: center;"> </div>

<p>整備の動機や背景</p>	<p>並木一丁目は開発されて 25 年を経た。特にセンターシーサイド周辺は高齢化が急速に進行しており、その影響があちらこちらに見受けられる。</p> <p>① 商店街に空き店舗が多く、活気がない。 →まちの魅力がなくなり、余計に人が来ないという悪循環が起きている。 (並木の「センター」というイメージが薄くなっている)</p> <p>② 定年を迎えた人(今後急増が予測される)や高齢者が気楽に集まれる場所がない。 (地区センターなどを利用して囲碁を行っているが、場所を独占しているようで気兼ねしているという意見もきく。また、気楽に集える飲み屋がない。)</p> <p>③ 学校の統廃合が実施されるほど、少子化が進んでいる地域である。</p>
<p>地域ニーズや課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 金沢シーサイドタウン全体が急速に高齢化しており、支援のネットワークが必要とされる。 ・ 特に、「エレベーターのない中層集合住宅が多い団地」という設計の特性上、気軽に集える交流の場や仕掛け(生涯学習や趣味の会)を設けないと、家に閉じこもりがちとなる危険性がある。 ・ 今後定年を迎える人々が増えることが予測されるが、地域での居場所や活動の受け皿がない。 ・ 若い世代が少なくなり、子育てのための交流の場をあえて設置する必要がある。 ・ 2丁目に新たな大型店舗がオープンし、1丁目センターはますます集客力がなくなると懸念される。しかし、1丁目の住民にとってセンター商店街は必要かつ便利な位置にある。存続を望むためには、人を呼ぶための仕掛けや施設が必要である。

2 具体的な整備提案の内容

現況の様子を写真の張り込み等で示すとともに、具体的な整備提案の内容を文章やイメージスケッチ等でお書きください。

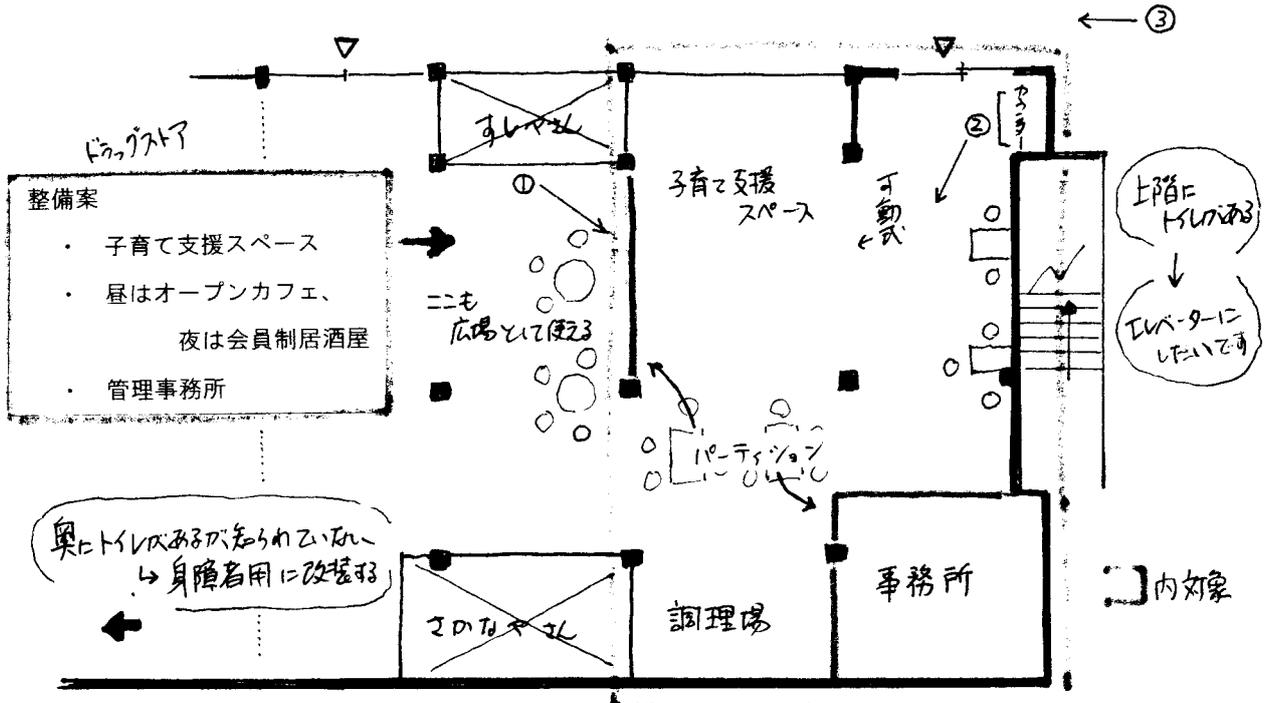
注1)



① 平日の昼間 誰もいない



② さかなやさん営業中 右はドラッグストア



③ 左側内部が提案対象



センターシーサイド全体の写真

上 大高正人氏設計のタウンセンターです。

下 閉まったままの元レストラン

概算整備費： 500 万円 (参考)

3 整備提案の効果について

<p>整備されたものがどのような人たちに利用され、地域でどのように役立つと考えますか？</p>	<p>話し相手が欲しい高齢者、定年世代、子育て世代及びボランティアをしたい人など、多様な人々の利用が見込まれる。</p> <p>施設整備により住民の交流を促進し、人が集まることで、商店街の活性化も期待される。</p>
---	--

4 整備提案の実現性について

<p>整備箇所の地権者や建物所有者、地域組織（町内会・自治会等）への周知状況をお書き下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地権者である横浜市住宅供給公社から、空き店舗活性化について相談がきている。 ・連合自治会やその傘下にある地区社協の協力体制が得られている。 ・商店会から賛同を得ている。
<p>整備提案を実現するために既に提案グループが持っている資源（ヒト、モノ、カネ）は何ですか？ 注2)</p>	<p>○ ヒト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の管理運営にあたっての協力体制ができています。 ・軽作業（大工工事、ペンキ塗りなど）についてはボランティアから協力の申し出があり、整備後の補修等にもあたってもらえる。 ・居酒屋については、元居酒屋経営者に相談中
<p>実現のために、もっと強化したいあるいは、新たに欲しい資源（ヒト、モノ、カネ）は何ですか？ 注3)</p>	<p>○ カネ</p> <p>地域貢献型の施設であり非営利のため多額の収入は見込めない。そのため家賃や共益費などの維持管理費支出が最大の問題である。これまでいろいろな補助金を検討してみたが、現在の家賃が高額なため、整備完了後の維持費の捻出が難しい。</p> <p>→非常に高額な家賃の低減を公社に検討して欲しい。</p>
<p>施設整備や維持管理について、提案グループや地域住民等がどのように関わろうと考えていますか？</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・子育て施設の運営は連合自治会下の組織である地区社協が行う。 ・維持費捻出のためオープンカフェおよび居酒屋を開業する。 ・全般に、施設の維持管理のため、現在 NPO らしく並木で行っているボランティアによる会員制支援組織「らしく支援」をもとに、ボランティアの協力体制を整備する。 ・商店街との調整や各種重要事項の検討に、連合自治会があたる。

5 特にPRしたい点

<p>提案内容や実施体制等について、特にPRしたい点があればお書き下さい。</p>	<p>センター商店街の空き店舗活性化は既に長年の課題となっている。そのため、合意形成はかなり進んでいる。一番の問題である家賃の低減のため、ぜひ市の協力を仰ぎたい。この問題がクリアできれば、連合自治会、商店会、NPO の協力により自主的な運営が可能と思われる。</p> <p>金沢シーサイドタウンは横浜市の事業として大々的に開発された団地である。4半世紀を経た現状を市当局にも是非考えていただきたいし、また「まちの繕い」に協力していただきたいと願っている。</p>
---	---

6 事業スケジュール

1次コンテスト以降、提案の実現に向けて、提案グループが取り組むことについて、事業完了までご記入ください。

	取 り 組 み 内 容 (合意形成、第2次整備提案書づくりなど)
7月	1次コンテスト 検討委員会の結成
8月	具体的な実現性の検討、各団体の役割確認 公社への家賃低減要請 商店街、周辺住民、その他との意見調整 採算性の検討
9月	設計 資金計画
10月	第2次整備提案書作成
11月	第2次整備提案書提出
12月	2次コンテスト
<p>2次コンテスト以降（設計期間、整備助成金交付申請時期、着手時期、工事期間、完了時期） 未定 なるべく早く工事に着手したいが、設計については、住民の意見を広く聴取し周知に努めた いので、期間を長めに取りたい。 <i>助成金交付申請は1月に行い、今年度中、完了を目指したい。</i></p>	